

まちづくりの考えは？

問 「ふるさと納税」の活用を

答 前向きに検討する



酒向 弘康 議員

制度発足から5年が経過した。現状と今後のあり方を問う。

問 町外からの寄付と、本町在住の方が町外へ寄付されている件数と金額は、税の状況は、表のとおり。

ふるさと納税の状況

| 年 | 町外から | 町外へ |
|-------|----------|-------------|
| 平成21年 | 3件 14万円 | |
| 平成22年 | 2件 301万円 | |
| 平成23年 | なし | 168件 1587万円 |
| 平成24年 | なし | 36件 349万円 |
| 平成25年 | なし | 36件 224万円 |



つとよい作業所で花づくり

問 本町へ寄付されている方への対応は。

答 ふるさと寄付金受領証明書と礼状を送付。

問 「広報こつた」の送付など寄付の感謝を表わす考えは。

答 広報こつた、町勢要覧、観光パンフレットなどの同封を検討する。

問 「つとよい作業所」の花木の栽培と販売「これをお礼とし販路拡大・雇用の確保を」。

答 返礼品としてふさわしいか、総合的に判断する。

問 町特産品のお礼は、町長の公約「農産物のブランド化の確立・農業の再始動」への近道と考えるが、今後の活用の考えは。

答 町長「春はタケノコやハウス物、夏はナス、ブドウ、イチジク、秋はナシや筆柿と色々な農産品がある。前向きに検討する。」

問 「幸せリーグ」への参加を

答 町独自の幸福度を追究する

答 全国790都市の中で岡崎市130位、西尾市123位、蒲郡市355位。

住みよさランキングでは、岡崎市、西尾市に劣っていないと考える。

問 「幸せ感」を満たすための課題と今後必要な取り組みは。

答 近隣市との比較で、利便度、住宅水準充実度が低いことが課題。

総合計画の施策を着実に取り組むことが必要。

問 住民の幸福実感向上を自さした、全国53市町村が加入している「幸せリーグ」に参加する考えは。

答 町長「今までの歴史、文化をもとにした形で、幸田町独自の幸福度を追究したい。」

問 「幸せが持続的に実感できる まちづくり」に向けた施策の展開を問う。

問 住民アンケート結果で「住みやすい」と84・5%の方が回答した。この結果をどう捉えているか。

答 企画部長「自然環境や人間関係の良さ、生活の利便性を感じている。」

問 全国の市の「住みよさランキング」からみて、本町はどこに位置しているか。